

日本看護歴史学会 会報

日本看護歴史学会
第13号
1992年10月1日

緒に就く

武藤美知

第六回日本看護歴史学会に出席して多くの刺激を享けて帰った。歴史はおもしろい。最初の頃は知識を広げたいためにあれこれ資料を漁っていた学習段階から少しずつ歴史的事実に触れ、社会的背景が見えてくると一段と興味・関心が深く成ってくる。

そして「何か手懸けてみたい」と意欲も湧くがその道程を考えると立ち竦んでしまうのが常である。しかし、今だに関心も薄れず執着しているのは興味の尽きない分野である故に、歴史セミナー・歴史学会へと足をはこび新たな人おもしろさVを仕入れたい所以である。緒に就くと書いた。それは事象のはじめに何があったのか、起

りの意図はどうであったかを知ることに、明らかにすることが歴史の学びに欠かせないからである。

日頃の目まぐるしさに気持ちを奪われていると「はじめありき」も「いとぐち」も見い出せないまま問題意識に振りまわされて客観的視野を狭くしてしまふ、十数年も歴史学会に結ばれていると、識者の成果に触れておのずと見方も育まれてくる。

今回も亀山・吉川両氏の発表で日本の近代看護、とりわけ看護事業・看護教育に「緒」をもたらした二人の人物史を紹介され驚きの中で聞いた。

亀山氏は「日本最初の看護婦大関和物語」を、吉川氏は「佐野常民

の生涯と赤十字看護教育」がテーマであった。

大関和の個人史は今まで「日本近代看護の夜明け」で知り得た範囲であるが六十二編に及ぶ参考資料、大関和を今ここに具現するかのようにならざるに直接足を運ぶまでの聞き取り、個性の強い才色兼備の大関和像に更に何が加わるのか興味津々たるものがある。

緒に就いた人のはたらきには強靱な心のバネが必要であり仕事の成果はその人の生きた証しでもあるが、大関の心のバネは御一新での人心一変の混乱を家族とともに経験した時に国家老であった父の言葉と出自の誇りであろうか、いずれにしても亀山氏によって歴史発見があるにちがいない。

佐野常民イコール博愛社（日本赤十字社の前身）の創設者という一般的な理解に立っているが、吉川氏は赤十字看護教育に着目した佐野常民をどのように発見して我々に示してくれるのか、興味のあるところであって楽しみである。

『石黒忠憲 懐旧九十年』に看護婦養成の始りは相当な苦勞があったと述べられている。

殊に石黒子爵が陸軍軍医であった当時、自分の職分は兵隊の母たる任務があると自覚して傷病兵が

重態になった時に女性のやわらかき手で看護するのではなければ親切な用意周到な看護は出来ないとして陸軍官憲では看護婦の養成はまだ出来ないの日本赤十字社で養成し、戦時・平時にも重病者に看護婦をつけるという計画をもっていた。

すでに高木兼寛によって有志共立東京病院で看護婦養成が始められていたこと、日本の国際赤十字条約加入・赤十字社の創立を機に篤志看護婦人会が組織されたこと、看護婦養成事業が「緒」に就いたと述べている。しかし、看護婦養成に尽力したのは橋本網常・高木兼寛医師と石黒子爵自身であった佐野常民の名は登場していない。赤十字社創立の中核委員であり社長職でもあったことからどのような関与のしかたで看護婦養成に着目したのか、理想の看護婦像を描いていたのか知りたい。

吉川氏の卓抜な資料発掘によって百年前の事のはじまりが明らかになる日も近い。

日本看護歴史学会が緒に就いたのも亀山・吉川氏の功績大であることをつけ加えたい。

第六回大会報告

代表幹事 亀山美知子

第六回大会は八月二二日の内海孝東京外大助教授の講演が好評のうちを終了。続いて定期総会が開催されました。審議事項中、来年度の活動方針として、一昨年より引き続き研究者としての基礎を築くための体制づくり、および昨年の保健婦五〇年に関連し、保健婦史に関する史料集積のプロジェクト設置について検討すること等が提案され、承認されました。

また、既報のとおり来期の幹事選挙の実施が確認され、三名の選挙管理委員の選出と承認が行なわれました(別項参照)。

尚、会報第一二号および七月二五日付号外で発表できなかった大会第二日目の会員による研究発表は左記のとおりです。

「佐野常民の生涯と

赤十字看護教育」

吉川龍子

「大関和の伝記をまとめるまで」

亀山美知子

※同日の昼食会では会員、非会員の別なく自己紹介等で交流を深めることができました。

分科会報告

渡部 尚子

高橋 みや子

六分科会開催し、各分科会では話題提供に引き続き、研究に関連したさまざまな意見交換がなされました。その概要を報告します。

一 近代看護史救世軍と社会事業

― 医療・看護活動を中心に―

話題提供者 小山千加代

参加者は四名。①英国における救世軍創立の社会的背景 ②日本における救世軍創設活動の開始と医療・看護活動開始までの経緯

③救世軍の医療・看護活動・教育の概要について報告。救世軍が伝道活動の手段として軍隊組織をとったのは何故か?大正六年開始の看護教育の実際は?等が検討された。

今後の課題として

①救世軍が軍隊組織をとった理由を明確にする ②看護婦養成の意図と教育の実際を調べることがあげられた。

二 ナイチンゲールの我が国への

受容

話題提供者 吉川 龍子

参加者は十五名。①ナイチンゲールと日本の看護職者や一般の人々との関係に関する先行研究の報

告 ②ナイチンゲールの受け入れ

られ方の時期に関する検討 ③ナ

イチンゲールの受容について報告。

受け入れられ方の時期は、一次、

日赤の岩井等の文書、伝記に現れ

る「とり入れの時期」と二次、Noggs

on Nursingの出版以降、ナイチ

ンゲールの本が読み初められた時

期に分類できるのではないか?研

究の課題と視点、研究方法等が検

討された。

今後の課題として ① Noggs on

Nursingの日本語訳の変遷を何時

から、何故という視点でみる

②受容の概念を明確にする等があ

げられた。

三 日赤の看護―昭和初期の看護

技術教育

話題提供者 山本 捷子

参加者は六名。日赤の昭和初期

の看護(救護看護婦養成所)の実

態に関する聞き取り調査結果の報

告。日赤病院の特殊性や当時の医

療レベルからみて手と眼をかけた

ベッドサイドケアが中心であった。

しかしながら、徒弟的、模倣的訓

練であったため、年次を経るにし

たがい技術がその本質を失い形骸化して行ったと変化の経緯が報告。

今後の課題として ①他の日赤

病院の看護・技術・教育はどのよ

うなものであったのかを明らかに

する。②女性史の視点から、日赤

の看護教育史をとらえるとなつた

るか等があげられた。

四 現代看護史―アメリカ帰国後

十年を顧みて

話題提供者 大村 春子

参加者は五名。①地域と接点を

もった看護活動として地域女性グ

ループとの関わり・高齢者グルー

プとの関わり・外国人看護婦の会

への関わりをあげ、具体的活動と

して、神奈川の女性史編纂・高齢

者グループへの健康教育とグルー

プ活動の場として自宅の開放・厚

生省や県とのパイプ役等が報告。

②日本の看護婦へ、看護婦本来の

看護の仕事をするために看護管理

の検討が必要。看護教育を受けた

者として社会に還元すること、病

院に勤務しなくともその立場から

社会に役立つことが必要と提言。

五 看護教育史―看護技術にみる

清潔

話題提供者 高橋 典子

参加者は九名。国立国会図書館

所蔵看護関係図書二十八冊(内訳

明治時代十五冊、大正六冊、昭和

七冊)中の、清潔に関する記述内容の検討により、明治時代から現代までの清潔ケアの変遷について報告。ヘレン・E・フレーザーの清潔ケアの記述は詳細で、現在の本と大差なく、また、訳本には薬浴に関する記述も多いと報告された。今後の課題として ① 当時行われていたケアの聴き取り調査 ② 変遷を体験した看護婦の体験をまとめる。③ 庶民の清潔習慣の変遷の調査等があげられた。

六 助産史―助産婦 丸エキ氏の歩んだ道

話題提供者 豊田淑恵・岡崎寿美子・ライダー島崎玲子

参加者は五名。個人史研究で、丸山氏の大正時代から現在にいたる助産婦職業歴の聞き取り調査結果の報告。同氏の生い立ちから産婆志向への動機、産婆教育機関と教育内容、資格取得と就職後の活動状況・役割拡大、その変遷(産院勤務↓開業↓保育所付加)、戦時災害時の助産エピソードと知られざる技術等々が報告された。

今後の課題として ① 個人史から更に発展させるために聞き取り調査で、転機や意志決定に関わる因子を分析する ② 取材の範囲を拡大し、周辺の地域の特性や社会背景の史料を取集する等があげられた。

以上

日本看護歴史学会 1991年度会計報告

日本看護歴史学会 1992年度予算案

収入の部 (単位 円)

項目	予算額	決算額	差し引き額
前年度繰り越し金	308,978	308,978	0
会費	450,000	1,058,000	608,000
		88会費 1人 89会費 12人 90会費 44人 91会費 128人 92会費 125人	
寄付金その他の収入	10,000	39,896	29,896
		会誌等売上 17,400 利子 2,496 広告料 20,000	
合計	768,978	1,406,874	637,896

収入の部 (単位 円)

項目	予算額	摘要	前年度決算額
前年度繰り越し金	919,163		308,978
会費	600,000	150×4,000	1,058,000
寄付金その他の収入	10,000		39,896
合計	1,529,163		1,406,874

支出の部 (単位 円)

項目	予算額	摘要	前年度決算額
事務経費	220,000		144,774
印刷費	(50,000)	幹事改選	(370)
通信費	(150,000)	会報3回 学会誌1回 幹事改選	(144,404)
事務用品費	(20,000)		
幹事会開催費	100,000		44,200
出版費	300,000		61,800
会報発行費	(100,000)	年3回	(61,800)
学会誌発行費	(200,000)	年1回	(0)
会員名簿費	30,000	1回/3年	0
總會費	50,000		50,000
分科会費	20,000		6,687
予備費	809,163	前年度学会誌発行費(18万円)・発送費未執行分を含む	180,250
合計	1,529,163		487,711

支出の部 (単位 円)

項目	予算額	決算額	差し引き額
事務経費	120,000	144,774	▲24,774
印刷費	(20,000)	(370)	
通信費	(100,000)	(144,404)	
事務用品費			
幹事会開催費	100,000	44,200	55,800
出版費	280,000	61,800	218,200
会報発行費	(100,000)	(61,800)	
学会誌発行費	(180,000)	(0)	
		11号30,900 12号30,900	
会員名簿費	0	1回/3年	0
總會費	50,000	50,000	0
分科会費	20,000	6,687	13,313
予備費	198,978	180,250	18,728
		(学会誌4号)	
合計	768,978	487,711	281,267

次年度への繰り越し額

実収入額 1,406,874円 - 実支出額 487,711円
= 919,163円

日本看護歴史学会に
参加して

淵井喜美恵

私はこの会に入って3年目を迎えました。初回のときは、中央日赤講堂で20年前に学習させて頂いた場所（現在の日本赤十字看護大学）で歴史学会があることを知り参加させて頂きました。当時（60年代）は病院ストがあり、この場で目前にしたことと同時期ぐらいに「素顔のナイチンゲール」を朝日ジャーナルに投稿なされた磯野富士子先生の記事が私の記憶に強く残ったことでした。

それ以来フロレンス・ナイチンゲールに傾倒してゆき70年代に発足したナイチンゲール研究会にも入会しております。私はこの懐かしい場所です学習基点に戻って入会しました。グループは吉川龍子先生のところに入りました。先生はそのとき、「歴史研究は歩けコロジである」と云われたことが心に残りました。次年度は参加出来ませんでした。今年度参加いたしました。夏休みを利用してロンドンに資料と調査の目的で行って参りましたが学会迄には整理出来ずに

出席しました。ロンドンのミュージアムを数カ所巡るのに手続きが難しくなり、ナイチンゲールについては、ナイチンゲールミュージアムを経由しなければ調査資料収集が難しいことが今回で解りました。

此の度の学会も私には大きな収穫を得ました。ゼミ「歴史研究とその方法」を講演された内海孝先生の吸い込まれてるようなお話と物の見方、考え方を教えられました。また最後に歴史学をいかに実り豊かにするかは ①徹底的に資料収集すること。②資料の中から問題を見出し出して研究を進展させると云われ資料発掘する必要等を述べられました。吉川龍子・亀山美知子両先生の個人の生涯と伝記についての調査の探索と時間、語られるなから学ぶ点とご苦労が伝わって来ました。各年の意義ある発表がなされ、次年度までの課題をもって終了したことは、私に継続の学習を与えられたと感謝しております。この会に入りより多くの人々の意見を吸収し、学術的探求に資するための力を養ってゆきたいと考えており

第6回大会 参加者の声

ます。そして一人一人の力でこの学会の存在を確実なものとしてゆきたいと願っています。

歴史の世界を
垣間見て

非会員 岸根滋子、佐藤幸子、南出成子

（京大病院）

とにかく、内海先生のお話はおもしろかった。歴史研究をする際の関心の持ち方、視野の広げ方を教えられた。このところ、目まぐるしい変化を見せる国内外の情勢の中であって、何かあせりを感じ、現実におくれまい、新しい知識を吸収しなければ……という思いに追われている気がする。その一方で、何か忘れて

ているような、何かを失なっているような不安も感じている。「温故知新」とよく言うし、その大切さも、よさも知っているつもりであるが、なかなか実行するのはむづかしい。しかし、この歴史を探る作業の中では、まさに、古きを訪ね、新しきを知るといふことの楽しさ、体験できない時代に思いを馳せ、過去への

道をたどりながら、見果てぬ未来への夢とは違ったロマンを感じる。脳細胞の、あるいは、心の、梗塞状態になった部分に新しい血液を送りこむような意味あいとおもしろさがあった。自分自身にとって、いや、人間にとつての価値あることだと思ふ。起原、すじみち、事実を知って、時代の中での変遷を知り、私達が受けつぐべきものが鮮明になってゆくような気がする。

この作業をするには、熱意、関心、行動力、思考の自由、脚力が必要とされ、健全な心身を持たなくてはならないことだと思ふ。『いつ』とか、『どんなふうにか』とか、『生活基盤がなくなると』とか、いろいろ迷っていたら進めなくなってしまうが、すべて自分との闘いであり、自分発見ということにもなると思われる。すでに行動を起こされている方々には敬服するばかりである。



幹事選挙公示のおしらせ

去る八月二二日の総会の場で、本会幹事の改選が承認されました。これに基き、本会会則第七条に基き、今年度中に次期幹事選挙を実施することになりました。

尚「日本看護歴史学幹事選挙規則」に基き、本会報の発行日をもって幹事選挙公示日とします。従って、投票期間は発行日から三ヵ月後の一九九三年一月一日(当日消印有効)までとなります。

投票は、同封の投票用紙を使用し、幹事に適任と思う会員の名前を一〇名連記し、同封の投票所宛の封筒に入れ、投票期限までに郵送して下さるようお願いいたします。一〇名以上連記された場合は、無効となりますので御注意下さい。

選挙管理委員会の設置について

幹事選挙の実施に伴い、次の三名の方々が選挙管理委員となることとが総会の場で承認されました。

- 鶴沢陽子氏 (投票所担当)
 - 花島具子氏
 - 滝沢道子氏
- 以上

日本看護歴史学会 幹事選挙規約

第一条 日本看護歴史学会の幹事の定数は一〇名とする。

第二条 選挙人および被選挙人の資格は、幹事選挙の行われる年度に発行される日本看護歴史学会会員名簿に登録されている者とする。

第三条 選挙管理委員会は、改選の年に開催される総会の場で会員より選出された三名の選挙管理委員によって組織される。選挙管理委員の任期は、新幹事の承認が行なわれた時までとする。

第四条 幹事選挙の公示は日本看護歴史学会会報の紙上において行うものとする。

第五条 幹事選挙の投票は選挙管理委員会の規定する投票用紙を使用し、一〇名を連記し、日本看護歴史学会幹事選挙投票所へ無記名で郵送するものとする。

第六条 投票期間は会報の発行日より三ヵ月間とし、その最終日当日の消印のあるものは有効とする。

する。

第七条 開票の結果、得票順に上位一〇名の者を幹事とする。選挙管理委員会の確認後、辞退者のあった場合は高得点の者より順次繰り上げ、一〇名とする。

第八条 第一〇位の者が複数以上あった場合に限り、該当者はすべて幹事とみなすものとする。選挙後一年を経て幹事の中から欠員が生じた場合の次点者繰り上げは原則として認めない。

第九条 幹事選挙の結果は、選挙後もっとも早い時期に発行される日本看護歴史学会会報紙上に発表するものとし、幹事の承認は総会の場で行なう。

第一〇条 新たに選出された幹事はその年度内に前任者より事務の引き継ぎを行ない、次年度より幹事の任務を遂行する。

付則一 本規則の改廃は総会の場で三分の二以上の会員の支持があった場合に成立する。

付則二 本規則は一九八九年八月二二日より施行する。

以上

尚、選挙人、被選挙人の資格は年会費(九二年度より四千元)を納めた者であり、三年以上滞納した者は失格となります。

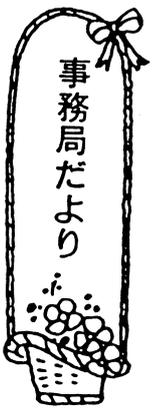
日本看護歴史学会誌への投稿について

本会の機関誌である『日本看護歴史学会誌』の投稿は切りが、今年も約三ヵ月後に迫って参りました。投稿規程については、入会時にお渡ししている会則、選挙規約等と共に公開しておりますが、念のためにその要旨を紹介します。論文は未発表のもので、B五判四〇〇字詰原稿用紙に縦書、五〇枚以内。要旨を一、二枚添付する。題目には必ず英文表題を付する。場合によっては、掲載料を徴収することもある、などです。

◆応募切日 毎年二月二〇日
◆原稿送付先 160東京都新宿区信濃町三五 慶応義塾看護短期大学 藤村龍子気付 編集委員会宛

会費納入のおねがい

一九九二年度より、会費年額四千元になりました。会費を三年以上未納の方は退会者とみなしますので御注意下さい。
郵便振替口座京都一五二二八五
日本看護歴史学会



◆ 新入会員紹介

- 高橋富士子 565 吹田市青山台一
- 二一〇二九一〇二
- 中嶋祥子 491-03 一宮市萩原字河原
- 崎七九 一宮市立看護専門学校
- 江澤千鶴子 279 浦安市当代島三
- 四一三二 葛南病院付属看護専門学校
- 城ヶ端初子 611 宇治市小倉町南浦
- 一〇五一一二

◆ 退会者

- 前坂外喜子、大石浩子、小野清美、田頭みどり (旧姓西川)、谷壬子、藍原キミヨ、岡崎コナラ、金谷幸子、安岡理宇、城井美子

◆ 改姓

- 平井真由美 ↓ 澤田真由美
- 滝本美佐子 ↓ 野矢美佐子

(以上敬称略)

※今回は名簿発行に伴い、住所変更は省略します。

インフォメーション

『流れのままに』

——一看護婦のあゆみ——

会員高岡スミ子さんは本会の長老格ですが、その長い看護婦としてのあゆみをこのたび自費出版されました。前作『私のふるさと記』の続篇として、また戦中戦後の看護史として貴重な記録となっております。お問い合わせは直接高岡さんへ(会員No.871090)

ボランティア二人

一二月発行予定の学会誌のために昨年の丸山博先生の講演のテープ起しをして下さったのは五十嵐節さん。今回発行の会員名簿をワープロで作って下さったのは高橋典子さん。お二人とも爽やかに志願されたものです。多謝多謝!

校正用冊子が
行方不明に!

八月二三日の大会会場で見本として出品した『大風のように生きて』大関和物語』の校正刷が四部行方不明になりました。お持ちの方は事務局までお返し下さい。

編集後記

八月、大会が終ると、久々にお目にかかった会員諸氏との心温まる交流のときを心のバネに日常生活へと戻りはじめます。

でも、その半面で寂しい思いもする。名簿ではお名前を空にする事ができるくらいに多くの方々と接していても、六回目の大会にも全くお顔の見えない方もある。見ず知らずの方でも、どうしていらっしゃるのかと思ってしまう。ぜひ、一度は大会に出て来て頂きたいと心より思う昨今である。

(か)

<p>日本看護歴史学会会報第13号</p> <p>発行責任者 558 大阪市住吉区帝塚山東 二一〇一四一</p> <p>大阪府立看護短期大学内 依田和美</p> <p>編集責任者 青木うめ子・亀山美知子</p>	<p>日本看護歴史学会事務局 615 京都市右京区西院月双町111 マンハイム五条三〇九号 亀山美知子 気付</p>
---	--

教育・臨床で役立つメヂカルフレンド社の新刊

看護史

新版看護学全書 別巻6

- 亀山美知子 著
- A5判 ● 352頁 ● 定価 1,600円(税込)
- 日本における看護の歴史を多数の史料を用いて解説。他国の歴史や近代看護の歩みも紹介している。

看護教員実務ガイダンス

- 山口瑞穂子 著 ● A5判 ● 208頁 ● 定価 3,000円(税込)
- 看護教員が教授・学務活動をする上での必修知識を完全網羅。

看護職員生涯教育検討会報告書

- 体系的な推進体制めざして —
- 厚生省健康政策局看護課 監 ● A5判 ● 152頁 ● 定価 1,500円(税込)
- 検討会報告書全文の他、関連資料及び最新のデータも掲載。

メヂカルフレンド社 〒102 東京都千代田区九段北3-2-4 ☎ 03(3263)7666 振替・東京0-114708